

外国語科学習指導案

日 時 :

学 校 名 :

展開学級 :

授 業 者 :

1 単元名 「ツアープランナーになろう。」(Junior Sunshine 6 Lesson 3)

2 単元目標

- ・行きたい国とその理由について、たずねたり答えたりする言い方を理解することができる。

【知識及び技能】

- ・修学旅行で行きたい国のことを紹介するために、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・修学旅行で行きたい国のことを紹介するために、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

本単元の目標は学習指導要領外国語第2英語の目標(4)話すこと[発表]ウ「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」を受けて設定する。「中学校の修学旅行で行きたい国を紹介しよう」という場面設定のもと、国名・国旗・世界遺産や各国の食べ物を題材とした活動を通して、その国の特色やよさに気づくことができる単元である。さらに、社会科の学習内容や総合的な学習の時間と関連させ、ギガタブでの調べ学習を取り入れたりすることで、教科横断的に学習を発展させ、世界への広い視野を養うことができるだろう。

児童はこれまで、Junior Sunshine 5 Lesson3 “Can you do this?” や Lesson 5 “Where is your treasure?”、Lesson6 “My Hero”において、[I /He /She] canなどのできることについて表す表現や場所を尋ねる疑問詞 Where について理解し、自分のできることや場所を尋ねる知識及び技能を身に付けている。

事前調査では、外国語の授業の中で好きな活動についての質問に対して、8割以上の児童がゲーム活動を好んでいるという回答だった。また「外国語の授業があまり好きではない・好きではない」という回答した児童の約7割もゲーム活動は好きな活動だと回答していた。つまり、外国語の授業への思いが異なっても、ゲーム活動に対しては意欲的な児童が多いことがわかる。また、英語で発表することについての質問に対して、「発表することがあまり得意でない/苦手である」と答えた児童が多くいた。主な理由として「うまく喋れないから」「間違えてしまうのが嫌だから」が挙げられた。外国語の授業を好んでいる児童も、発表に対する抵抗感が強く、失敗してしまうことへの不安があり、英語で発表する活動を好まないことがわかった。

そこで本単元では、「修学旅行でクラスメイトと一緒に行きたい国ベスト3」を学級で決めるという目標を設定する。そして、自分が行きたい国にクラスの友達が行きたくるようにその国の特色やよさを伝えることを目的とする。そうすることで、相手意識をもって発表の内容を考え、発表することができると思う。さらに、発表内容を充実し、相手に伝わりやすい発表にするために、よい発表とあまりよくない発表の2つの手本を比べさせ、

「既習表現や本単元で学んだ表現をどのように使用すればよいか」、「どのように発表すれば自分が行きたい国に友達がより行きたいと思ってくれるか」を児童に考えさせる。これらによって目的に合った発表内容や発表の仕方を児童が自ら考え、取り組めるようになり、自然な形で自分の考えや思いを伝えるための表現を習得することができるだろう。

また、単元を通して、児童が好きなゲーム活動を中心に本単元で学ぶ表現を練習したり、朝学習の時間を活用し、発表の練習をしたりする単元構成の工夫をする。そうすることによって、発表することがあまり得意でない/苦手である児童も何度も繰り返し練習することで自分の発表に少しずつ自信をもつことができるようになり、発表することに対しての不安感や抵抗感を軽減できると考える。その際に、個々の課題に対して必要なウェブアプリを活用することで、児童一人一人が自分の課題に対して、自らのペースで粘り強く学習に取り組めるようになるだろう。このようにスモールステップで発表練習をすることで、発表の苦手な児童にも繰り返し練習すれば、自分の思いや考えを伝えることができることを実感させ、これからの学習にも意欲的に取り組めるようにしたい。

4 児童の実態 割愛

5 研究テーマ・視点について

(1) 研究テーマ

学びのつながりを意識した、「伝える力」をのばす指導と評価

(2) 視点及び手だて

視点1 学びのつながりを意識した学習活動の工夫

本時では、ギガタブでデジタル教科書やウェブアプリ (Read Speaker)、カメラ、音声文字変換を活用する。個別で練習を行い、自分自身のペースで学習を進めることができる。ギガタブを活用して学習を進めることによって、児童自身が自分の発表練習の段階を意識できるようになる。本単元では、発表練習の段階を3段階に分けた。第1段階は、デジタル教科書やウェブアプリ(Read Speaker)を活用し、自分の発表を暗唱できるようになる。第2段階は、カメラで自分の発表を録画して、自分の発声や発表の仕方を確認し、改善する。第3段階は、音声文字変換を活用し、よりよい発音を目指し練習する。自分が必要とするアプリを主体的に選択し、練習することで自分の課題が明確になり、戸惑うことなく学習に取り組むことができる。また、自分に合ったアプリを選択することができるので、授業内だけでなく家庭でも練習することができ、自分自身の不安な部分を集中的にトレーニングすることができる。このように学びのつながりを意識しながら言語材料を定着させることで、自分の発表に少しずつ自信をもてるようになり、発表することに対しての不安感や抵抗感を軽減できるだろう。また、スモールステップで発表練習をすることで、発表の苦手な児童にも繰り返し練習すれば、自分の思いや考えを伝えることができることを実感させ、これからの学習にも意欲的に取り組めるようにしたい。

視点2 「伝える力」をのばすための指導と評価の工夫

本単元では、単元を通してゲーム活動を中心に本単元の目標の表現を繰り返し練習する。ゲーム中心の授業は、児童がゲームを楽しんでいるうちに、自然な形で英語を学ぶことができる。そうすることで、「うまく喋れない」、「自信がない」と回答した児童も好きな活動で表現を習得していくことができ、苦手意識や抵抗感を減らせるの

ではないかと考える。また、朝学習を活用して発表練習をする時間を確保する。短い時間で毎日取り組むことで、その日ごとに練習の振り返りができ、次の日の課題を明確にすることができる。このようにくり返し練習することで、苦手な児童も課題を克服していき、自信をもち発表に臨めるようになるだろう。

そして、3種類の手本を児童に紹介する。1つは、本単元で「思考・表現・判断」のA評価「内容が充実しており、アイコンタクト、ジェスチャー、自信をもった発表」にする。他の2つは、本単元で「思考・表現・判断」のB評価となる「内容は充実しているが、ジェスチャーが含まれない発表」や「内容が充実していない発表」にする。それらを見比べることで、相手により伝わりやすくするためには、音声だけでなく、ジェスチャーなど動きが重要であることを気付かせる。それによって、児童は自分の発表の中で「どのようなジェスチャーや指さしなどの動きを取り入れるとよいか」について思考を巡らせ、発表に取り入れることができるようになるだろう。さらに、発表内容にも焦点を当てさせ、どのような既習表現が活用できるかを知ること、自分の紹介の原稿を考える際により自分の思いや考えを表現できるようになると期待される。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識> 国名や地域、食べ物、施設などの言い方や、Where do you want to go?, I want to go to ～、You can see [eat] ～. などの表現について理解している。</p> <p><技能> 行きたい国や地域について、国名や地域、食べ物、施設などの言い方や、Where do you want to go?, I want to go to ～、You can see [eat] ～. などの表現を用いて、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>修学旅行で行きたい国のことをわかりやすく相手に伝えるように、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら発表している。</p>	<p>修学旅行で行きたい国のことをわかりやすく相手に伝えるように、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら発表しようとしている。</p>

7 指導と評価の計画 (5/6)

時	学習内容	知 技	思 判 表	態 度	評価基準〈評価方法〉
1	○ツアープランナーの話聞き、単元の見通しをもつ。				本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。
2	○行きたい国をたずねる言い方に慣れ親しむ。				本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。
3	○行きたい国とその理由について、たずねたり答えたりする。				本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。
4	○ツアープランナーの話参考にして、修学旅行で行きたい国を紹介する原稿を考える。				本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。
帯学習	○個人で、修学旅行で行きたい国の紹介の練習をする				本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行い、児童の学習状況を確認する。

5 本 時	○ペアで、修学旅行で行きたい国の紹介の練習をする。 ○相手に伝わることを意識して練習する。		発	発	◎修学旅行で行きたい国のことをわかりやすく相手に伝わるように、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら発表している。 〈行動観察・動画〉 ◎修学旅行で行きたい国のことを紹介するために、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えてようとしている。 〈ワークシート〉
6	○修学旅行で行きたい国を紹介する。 ○単元の振り返りをする。	発	発	発	◎行きたい国や地域について、国名や地域、食べ物、施設などの言い方や、Where do you want to go?, I want to go to ～、You can see [eat] ～. などの表現を用いて、伝え合う技能を身に付けている。 〈パフォーマンステスト〉 ◎修学旅行で行きたい国のことをわかりやすく相手に伝わるように、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら発表している。 〈パフォーマンステスト〉 ◎修学旅行で行きたい国のことをわかりやすく相手に伝わるように、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら発表しようとしている。 〈パフォーマンステスト〉

8 本単元で扱う語彙・表現

表現 Where do you want to go? I want to go to ～. Why? I want to see [eat] ～.
You can see [eat] ～.

語彙 Japan Mexico Canada Brazil Italy India Korea the U.K. the U.S.A. France China
Australia Switzerland Germany Egypt Kenya

9 本時の指導

(1) 本時の目標

○修学旅行で行きたい国のことをわかりやすく相手に伝わるように、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら発表している。

【思考力・判断力・表現力等】

○修学旅行で行きたい国のことを紹介するために、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えてようとしている。

【学びに向かう力・人間性等】

(2) 本時の展開 (5/6)

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
<p>挨拶 (3)</p> <p>1 挨拶をする。</p> <p>T: Hello, how are you? S: I'm good.</p> <p>復習 (5)</p> <p>2 Warm Up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードゲームを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>キーワードゲーム 黒板に国旗を貼り、キーワードを一つ決める。教師が言ったセンテンスをリピートし、キーワードとなった国名が言われたら、互いの間にある消しゴムを取る。</p> </div> <p>3 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お互いの発表がよりよくなるために、発表の内容や仕方について話し合おう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・明るく挨拶し、楽しい雰囲気を作る。 ・全体に挨拶と天気などの質問をする。 ・国の名前を繰り返しリピートすることで、自然と国の名前と国旗を一致できるようにする。 ・似た音の国や町を発音することで、細部まで児童が音に集中でき、意欲的に活動に参加できるようにする。
<p>導入 (7)</p> <p>4 Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT が行きたい国の紹介を聞こう。 ・発表のポイントを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>発表スキル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クリアボイス 2. アイコンタクト/ジェスチャー 3. 自信をもって発表する </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の発表を見せ、児童がどのように発表すればよいかを再確認できるようにする。 ・ポイントを確認することによって、児童が個人で練習する際に意識する部分を明確にできるようにする。
<p>展開 (24)</p> <p>5 個別で発表練習をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>S: Hello. I'm</p> <p>I want to go to Spain.</p> <p>You can see soccer games.</p> <p>It's exciting.</p> <p>You can eat paella.</p> <p>Do you know paella?</p> <p>Look at this picture. It's delicious.</p> <p>I like it.</p> <p>Thank you.</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、使うアプリを明確にすることで、児童が自分のレベルに合ったアプリを使用でき、効果的な練習をできるようにする。 ・デジタル教科書やウェブアプリ、音声文字認識アプリを使うことで、自分自身で繰り返し練習できるようにする。 ・机間指導をし、ICT 機器の操作を支援することで、ICT 機器の操作が苦手な児童も発表練習に集中して行えるようにする。

	<p>6 ペアで発表を見合い、よりよい発表になるようにアドバイスをし合う。 「写真を指差しながら伝えるとわかりやすい。」 「珍しいものだから知っているか質問したらいいと思う。」 「上手に言えてるからもっと自信をもって発表していいよ。」</p> <p>7 全体でアドバイスしたことを共有する。</p> <p>8 ペアからのアドバイスをもとに個別練習を行う。</p> <p>9 本時の練習でできるようになったことや自分の課題を振り返り、次時の発表の目標を決める。 「原稿を見ずに発表できるようになった。本番では、アイコンタクトをしながら発表できるようにする。」 「自分の気持ちや考えを入れた原稿にできたので、自信をもって伝えたい。」</p> <p>10 Goodbye じゃんけんをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにチェックポイントを明記し、見る観点を明確にすることで、視点をもってお互いの発表を聞き合えるようにする。 ◎修学旅行で行きたい国のことを紹介するために、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えている。 〈行動観察・動画〉【思考・判断・表現】 ・友達からのアドバイスを振り返らせ、自分自身のできるようになったことや課題に気付かせ、次の練習の課題を明確にできるようにする。 ・友達のアドバイスや自分の課題に合わせて、使うアプリを選択させ、児童が自分のレベルに合った練習を主体的にできるようにする。 ・児童のよかったところを褒め、今後も意欲的に取り組めるようにする。 ◎修学旅行で行きたい国のことを紹介するために、各地の名所や行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えてようとしている。 〈ワークシート〉 ・楽しい雰囲気での学習を終われるようにする。
振り返り (5)		
挨拶 (1)		